

1 学年だより

令和3年11月18日(木)

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

山燃ゆる

「山燃ゆる」と表現することがあります。これは、山火事が起きて山が燃えることではありません。秋が深まり、木々が紅葉して山が鮮やかに色づいた状態をいいます。箱根の大観山のレストランから芦ノ湖を見下ろすと湖面に色づいた山肌が映ってとてもきれいです。

山には、たくさんの種類の木々があります。赤く色づく葉、黄色に色づく葉などさまざまな紅葉で山がモザイクになるので華やかなわけですね。もし、山の木々が同じ種類だったらどうでしょうか？山は単色になり、それはそれで整然としていますが、趣は薄れてしまうと思います。山がそれぞれの色で紅葉するから良いのです。寄せ木細工のように色づいた山を見て「山燃ゆる」と言うわけです。

また、山の木々は、暑さに強い木、暑さに弱い木、害虫に弱い木、害虫に強い木、風に強い木、風に弱い木、などさまざまな種類の木が共生しています。これが、山にとって大切なことなのです。例えば、山に生えている全ての木がカイガラムシに弱い木だとするとこの害虫が異常発生すると山は一変に死滅してしまいます。このように、同じ特性を持った木だけで山を構成していると整然としていますがもろいのです。害虫に強い木が混ざっていれば、山は死滅しません。

自然は、さまざまな特性を持ったものを集めて一つにします。同じものだけで集めることはしません。校庭に転がっている石も生えている草も様々です。自然は、違って良いのです。

教室にいる友達を思い浮かべてみましょう。それぞれ、たくさんの個性があります。活発な友達、物静かな友達、運動の好きな友達、運動が苦手な友達、勉強の得意な友達、勉強が苦手な友達、音楽が好きな友達、音楽が苦手な友達、様々でしょう。みんな一人一人違います。それが大切なんだと思います。春に中学校に入学して、もう、秋になりました。1組、2組、3組のクラスがそれぞれの仲間の個性を認め合ってモザイク色に紅葉してください。各クラス、28の葉の色で。